

新川流域農業水利事業所は国営土地改良事業で造成した新川河口排水機場、新川右岸排水機場の改修を行っています。

〔西蒲原地域における土地改良の歴史〕

西蒲原平野は海拔0m以下の土地が約2割を占める低平地で、中ノ口川、信濃川、大河津分水路と弥彦山、角田山に囲まれた地形的な要因から、雨水が滞留しやすく、「三年一作(三年に一度、まともに収穫できれば良い)」といわれるほど水害に悩まされ、収穫した米も「鳥またぎ(鳥さえもまたいで食べずに通る米)」と揶揄(やゆ)されたほど出来が良くないものでした。農民はわずかに盛り上がった土地に家を建て、あたりの泥沼に腰までつかり泳ぐようにしながら稲を植えたといいます。農地を1ミリでも高くするため、爪のついた竿で川底の土をかき集め、舟に乗せて自らの農地に運んだのです。これは昭和初期の頃まで続いたといわれています。



写真提供：西蒲原土地改良区

そして低地であることから、ひとたび大雨等による洪水が起こると、家も流され、農地も泥に沈むといった悲惨な出来事がたびたび起き、江戸時代から戦後までの約350年間に約100回の洪水に見舞われたといわれます。また、水の流れをめぐって、村民同士の争いが絶えず壮絶な闘いを繰り広げていたともいわれています。

文政元(1818)年によく平野部内に集まる悪水(雨水の流出も含めた排水の総称)を日本海に流すための新川開削工事に着手し、大正2(1913)年に完成しました。さらに、信濃川から日本海に直接放流を行うための大河津分水路の開削を明治42(1909)年に開始、大正11(1922)年に開通(完成)し、信濃川治水の抜本的対策がなされました。

〔戦後の土地改良のあゆみ〕

◇国営新川農業水利事業(昭和22年度～昭和48年度)
排水改良のため地域に点在する小規模な排水機場の機能を統合し、地域の農業経営の安定と合理化を図るため、新川本川を改修し、新川右岸排水機場などを造成しました。

◇国営鎧潟干拓建設事業(昭和33年度～昭和43年度)
農業経営の近代化と農業構造の改善を推進するため240haの干拓地造成、背後地の排水改良を行いました。

◇国営新川二期農業水利事業(昭和42年度～昭和54年度)
地盤沈下が進行し湛水被害が深刻化したことから既設排水機場の機能回復、流域の排水管理の合理化を図るため、新川河口排水機場の造成などを行いました。

◇国営西蒲原排水農業水利事業(昭和55年度～平成15年度)
昭和53年6月の集中豪雨では全域で甚大な被害が発生しました。このため、さらなる湛水被害の防止と農地の汎用化に対応するため、新川に集中する従来の排水計画を見直し、日本海や中ノ口川、西川にも排水する分散排水方式に改めるため、上流部では大通川放水路、新々樋曾山隧道等の造成、また下流部では排水機場の新設・増設を行いました。あわせて、分散排水方式による施設制御を迅速かつ的確に行う水管理システムを構築しました。



大通川放水路
(新々樋曾山隧道)



西蒲原排水中央管理所

以上のように国営土地改良事業等を実施したことにより西蒲原地域は全国有数の穀倉地帯へと変貌を遂げました。



〔新川流域農業水利事業への着手〕

新川河口排水機場及び新川右岸排水機場は設置後数十年が経過して、ポンプからの漏水の発生やコンクリートの劣化などにより施設の機能を維持することが困難な状況となっていることから、平成18年度に新川流域農業水利事業所が発足し、両排水機場の改修を進めています。

新川河口排水機場では全6台のうち3台のポンプの改修が完了しました。新川右岸排水機場ではポンプの据付、吐水槽の工事などを行っており、今年夏に供用を開始する予定です。

〔事業所職員がクリーン作戦に参加しました〕

平成23年11月3日午前、西蒲原地区広域土地改良事業推進協議会が主催する「クリーン作戦」が開催され、吉田・新荒井川、大通川放水路、七穂排水路、横江排水路において総勢385名(事業所から7名)が参加し、ゴミを拾い集めて水路の清掃を行いました。

大通川放水路では立て札によりゴミ投棄をやめるよう呼びかけていますが、予想以上に投棄されたゴミが多く、参加者のゴミ袋はすぐに一杯になりました。

一般の方々の排水施設の管理に対する理解はまだ十分とは言えず、現地見学会や情報発信により理解度を高めていく必要があると感じました。



〔平成23年度広報活動〕

当事業所では広報活動として新川河口排水機場、新川右岸排水機場の現地見学などを行っています。平成23年4月から今年1月までに行った広報活動は下表のとおりです。

年月日	広報活動内容
平成23年 4月11日	新潟県農地部3名による現地見学
4月28日	報道機関4社に河口機場ポンプ羽根車据付工事公開(新潟県農地部主催)
7月 1日	西蒲原地区広域土地改良事業推進協議会17名による現地見学
7月12日	新潟市立小針中学校10名による職場体験
7月15日	西蒲原土地改良区総代・役員約100名による現地見学
7月23日	小学生親子に排水機場の大切さをPRする「新・西蒲原ビフォー・アフター」を開催し、46名(小学生27名、大人19名)が参加(新潟県巻農業振興部、西蒲原土地改良区と共催)
10月18日	西蒲原地区管理体制整備推進連絡部会による現地見学
10月18日	西蒲原土地改良区新潟支所・黒埼支所による現地見学
11月 1日	新川まちおこしの会・西蒲原土地改良区5名による現地見学
11月 1日	北陸農業土木事業協会20名による現地見学
12月22日	中華人民共和国黒竜江省水利工程建設管理局長他3名による現地見学
平成24年 1月14日	新潟県庁4名、滋賀県庁1名、島根県庁1名による現地見学

〔見学者の募集〕

排水機場の現地見学を実施しています。学校、地域の方々の見学も大歓迎です。関心のある方は事業所までご連絡お待ちしております。

電話 0256-73-6200(代) FAX 0256-72-1716 (連絡先: 工事第一課 鬼塚)

工事スケジュールの都合上、ご希望に添いかねる場合があります。詳しくは事業所までお問い合わせください。今年の工事予定は以下のとおりです。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新川河口排水機場											
新川右岸排水機場											



新川河口排水機場にてポンプ改修工事について説明